4003137

糖尿病網膜症における アンギオテンシン受容体阻害剤の治療効果

14571652

平成14年度～平成15年度科学研究費補助金基盤研究（C）（2）研究成果報告書

平成16年3月

研究代表者 吉田晃敏

旭川医科大学医学部教授

はしがき

平成１４年度より、文部省から、文部省科学研究費補助金（基盤研究（C）(2)）の助成のもとに行なわれた「糖尿病網膜症におけるアンギオテンシン受容体阻害剤の治療効果」は２年間の研究期間を終了し、ここに研究成果報告書をまとめることになった。今回の研究でいくつかの新しい知見を得ることができた。

２年間の成果をまとめるにあたり、いろいろとご指導を頂いた関係者の皆様に心からお礼を申しあげる。また、報告書についてご意見を頂ければ幸いである。

研究組織

研究代表者：吉田　晃敏　（旭川医科大学医学部・教授）
研究分担者：引地　泰一　（旭川医科大学医学部・講師）
研究分担者：森　　文彦　（旭川医科大学医学部・講師）

研究支援者

長岡　泰司　（旭川医科大学医学部・助手）

研究経費

平成１４年度	2,000 千円
平成１５年度	1,500 千円
計	3,500 千円

研究発表

1　学会発表

1）Mori F, Hikichi T, Takahashi J, Yoshida A: Differential vitreous fluorophotometry basic and clinical study: 第 29 回　国際眼科学会議　2002 年 4 月（シドニー）

2）森　文彦: シンポジウム II 眼疾患と眼循環　糖尿病と眼循環：第 20 回　眼微小循環研究　2003 年 7 月（東京）

3）森　文彦：学術奨励賞受賞講演：第 107 回　日本眼科学会総会　2003 年 4 月（福岡）

4）森　文彦、石子　智士、北谷　智彦、安孫子　徹、長岡　泰司、引地　泰一、吉田　晃敏：糖尿病黄斑浮腫における変視量、網膜厚、固視、暗点の M-CHARTS、OCT、SLO による検討：第 57 回日本臨床眼科学会　2003 年 10 月（名古屋）

2　学会誌

1）Mori F, Hikichi T, Takahashi J, Nagaoka T, Yoshida A: Dysfunction of active transport of blood retinal barrier in patients with clinically significant macular edema in type 2 diabetes. Diabetes Care 25: 1248-1249, 2002.

2）Mori F, Hikichi T, Nagaoka T, Takahashi J, Kitaya N, Yoshida A: Inhibitory effect of losartan, an AT1 angiotensin II receptor antagonist, on increased leukocyte entrapment in retinal microcirculation of diabetic rats. Br J Ophthalmol 86: 1172-1174, 2002.

3）Mori F, Yokota H, Nagaoka T, Konno S, Kagokawa H, Hikichi T, Yoshida A: Pulsatile ocular blood flow is unaffected in type 2 diabetes mellitus. Jpn J Ophthalmol 47: 2003.

4）森　文彦: 拍動性眼血流量および加齢黄斑変性における眼循環動態の変化. 日本眼科学会雑誌　107: 674-677, 2003.

5）Nagaoka T, Kitaya N, Sugawara R, Yokota H, Mori F, Hikichi T, Fujio N, Yoshida A: **Alteration of choroidal circulation in the foveal region in patients with type 2 diabetes. Br J Ophthalmol (in press).**

6）Nagaoka T, Takeyama Y, Kanagawa S, Sakagami K, Mori F, Yoshida A: **Effect of hemodialysis on retinal circulation in patients with end-stage renal disease. Br J Ophthalmol (in press).**